

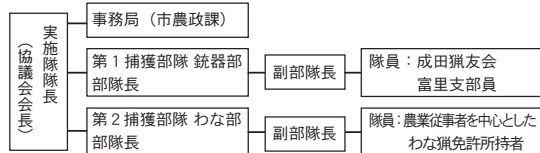


富里市鳥獣被害対策実施隊
第2部捕獲部隊 わな部 部隊長
スイカ農家を営む 小峰 弘 さん

近い将来、富里にもイノシシが来る

平成29年の春に私の農地にイノシシの足跡が見つかりました。数年前から市役所に「イノシシによる農業被害が出てから対策をしていただけでは遅い」、「近い将来、富里にもイノシシが来る」と声を挙げていたので、実際、足跡が見つかったことを市に連絡すると、すぐに当時の農政課長が現場の視察に来ました。そこからの対応は早かったです。同年の8月には「富里市有害鳥獣被害防止対策協議会」が設立され、その2年後には、「富里市鳥獣被害対策実施隊」が発足されました。

●実施隊隊員構成56名(20~70代の幅広い年齢層)



「ありがとう」の言葉を励みに

活動としては、各隊員が自身の手の空いているときや、早朝に、2日に1回は、畑の周辺の山間部の巡回、わなの設置・見回りなどを行っています。隊員間ではすぐに連絡が取れる体制づくりができており、地域一丸となって、対策にあたっています。隊員でない農家さんから足跡や被害があると隊員に連絡が入り、わなを仕掛けてほしいと言った声もあります。市外の方からもあるんですよ。そんなときによその畑に仕掛けておいたわなで捕獲が成功した時の「ありがとう」の言葉は励みになります。



被害を受ける農作物

市における獣の農作物被害金額は、アライグマによるものが最も多く、トウモロコシ、スイカ、落花生など、市の主力農作物が多く被害を受けています。イノシシによる被害が一见少ないのは、市の行政界での予防線により、まだイノシシが入り込んでないことや繁殖が定着していないためです。定着してしまうと、繁殖の能力が極めて高いため、農作物への被害がこれまでとは比にならないくらい大規模なものとなります。そのため、市内に入り込ませないようにするための早めの対策が大切なのです。

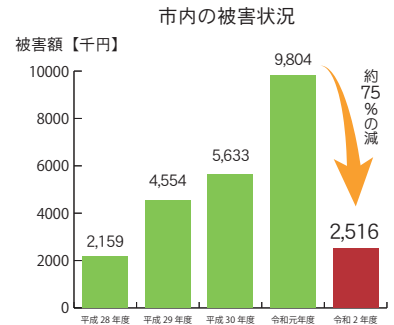
市内における鳥獣種別の主な被害概要
(平成28年~令和3年8月末)

鳥獣の種類	被害の現状	
	品目	被害数値
アライグマ	スイカ、落花生ほか	30,980千円 185.2a
ハクビシン	トウモロコシ、ブドウほか	11,506千円 223.9a
カラス	スイカ、落花生ほか	4,568千円 101.2a
タヌキ	トウモロコシ、落花生	520千円 27.3a
イノシシ	馬鈴薯、ネギほか	468千円 10.2a



活動により見えてきた成果

令和元年から地域、隊員、行政、JAが連携し、アライグマ・ハクビシンによる被害が深刻な地区で、小型獣集中捕獲(80基)を実施しました。また、山武市との行政区付近にて、捕獲許可を得た従事者によりイノシシ捕獲を実施し、平成30年8月~令和3年8月末までに累計47頭捕獲しました。楽しく被害対策にあたることをモットーに活動しているため、世代を超えて農業に対する交流も生まれています。この交流から「市の農業全体の活性化」と「地域が抱える様々な問題への対処」につながっていくと意識しています。



関心を持ってほしい

自分のところに被害がないとしても他人任せになってしまいます。山武市・芝山町に接している南部地域だけの話ではありません。市のあらゆる方向からの対策が必要で、面での問題をとらえることが大事です。足跡などを見かけたら農政課に通報するなど、皆さんにも関心を持っていただけたらと思います。



放棄果樹・規格外野菜等の放棄をいませんか

放棄果樹・野菜残渣・放棄農作物は、イノシシ、アライグマ、ハクビシン等の有害鳥獣にとって、栄養価の高い餌となるだけではなく、一度味を覚えた鳥獣は、より美味しい餌を求め、出荷前の農作物に手を出します。放置では無く、穴を掘り、埋め戻すようにしましょう。

